



Newsletter

No. 43

2011年6月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

原発特番をやりぬいた「レイバーネット TV」

3.11の大地震と福島原発事故。私たちの置かれた環境が激変した。原子炉の水素爆発が起こり、都内は計画停電で電車がまともに動かなくなった。いったいこれからどうなるのか、不安が広がっていた。イベントは軒並み中止。レイバーネットTVは3月17日にレギュラー番組を予定していたが、「中止にしようか」と悩んだ。しかし仲間と話し合う中で「いまは自分たちがやれることをやろう」と気持ちを切り換え、17日の放送は「原発特番」として「たんぼぼ舎」をゲストに番組を緊急編成した。番組は大成功で、これがレイバーネットTVのスタンスを決めたと思う。視聴した会員からは、「震災、原発事故の報道を見れば見るほど追い詰められ、窒息しそうでしたが、やっと前向きになれました」との声が寄せられた。以来、月2回のペースでこの問題を取り上げ、若者デモ・原発を推進したのは誰か・福島県教組郡山支部・「被曝労働」の樋口健二さん(写真)、と回を重ねていった。3月5日のレイバーネット総会で「アクティブ・ラジカル・多様性」をもったメディアをつくっていこうと確認したばかりだったが、そのことが今回の「原発報道」に活かされることになった。働く者が安心して生きられる社会実現のためにも脱原発運動を、レイバーネットとして推進していきたい。(松原 明)

大手メディアがダメなら自分たちで

土屋トカチ

3月11日の東日本大震災。揺れた直後、震源地が東北と聞き「原発は大丈夫なのか？」とすぐ思いました。東京電力福島第一原発の事故が明らかになった時の絶望感は、やはり言葉にできません。私の生まれ育った場所は、若狭湾の高浜原発から



10数キロしか離れていない舞鶴市。子どもの頃から、原発は危険なものとして認識していました。中学の同級生約150名のうち、4名が高校生ままでに白血病で亡くなっています。直接的な原因が原発だと証明できませんが、私は原発のせいだと思っています。原発の恐ろしさを友人に話し、詩や歌にしました。初めて作った映像作品は、原発労働をしたことのあるホームレスの男性を取材しました。映像の仕事についてからは、原発PRの仕事だけは、どんなに金がない時でも断ってきました。

しかし、それ以上にやってきたのか。熱心にやってきたのか。やはり、どこか問題意識の薄れは自分の中にもあったと思います。レイバーネットTVに登場された「たんぼぼ舎」の皆さん、樋口健二さんのような、コツコツと地道に活動されてきた方は除いて、世間の大半は恐らく私と似たようなものでしょう。チェルノブイリ事故以降、あんなに盛り上がっていた反原発・脱原発運動もどこ吹く風、と。

そんな自己批判を元に、レイバーネットTVでの原発特番に私は取り組んでいます。やはり、これま

< 2ページ下段へ続く >

当面の活動予定



レイバー映画祭 2011

7月23日 AM10:30 開演

田町交通ビル 6F ホール

レイバー映画祭もことしで5回目。3.11以後の映画祭になり、プログラムもそれを大きく反映したものとなりました。新作・秀作・激作ぞろいの5コーナー・7本の作品を上映します。会場は上映環境のいい「田町交通ビ

ル6Fホール」。7月23日(土)午前10時30分開演です。チラシ配布などの協力もよろしく。

●レイバーネットTV放送予定

第15回 6月16日(木)午後8時~9時15分

「原発をつくった労働者たち」

ゲスト：小嶋武志(全造船石川島分会)

第16回 7月7日(木)午後8時~9時15分

「原発事故とメディア」ゲスト：上杉隆ほか

視聴アドレス= <http://www.labornetjp.org/tv>

＜レイバー映画祭 2011・上映作品紹介＞

★映画「子どもたちを放射能から守れ — 福島のとたかい」の製作にあたって

湯本雅典



初めて福島(郡山)に入ったのが4月11日。震災から1か月後だった。鉄道は復旧していなかったのでバス利用だったが、郡山駅周辺は、見た目は少なくともビル群は「普通」だった。

しかし、放射線値は、毎時2～3μSv。東京の10～15倍である。

この時は、「現実」を見なければ、という思いだけだった。ネットだけを頼りに、福島県内の取り組みを検索し、かたっぱしから連絡をとった。思ったとおり動きは始まっていた。福島県教組郡山支部の独自の放射線測定と分会ファックス、福島市内の保護者3名によるわが子の通う学校の放射線値測定から県への要請(これが、その後わずか1か月で「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の結成から文科省交渉へとつながる)等々。

私の拙い経験ではあまりにも速すぎる情勢の展開を前に、なんとかその中で、人間としての社会を見る目だけは失いたくないと感じた。それが、その後も取材活動を続けている理由となっている。

今製作を急いでいる映画「子どもたちを放射能

＜1ページから続く＞

では問題意識が低かった。圧倒的に低かった。じゃあ、どうする？ 大手メディアがダメなら、自分たちでやってやろう！ それも楽しく。そんな気持ちで取り組んでいます。(レイバーネットTV・キャスター)

「働くもののメディア」だからできること

松元ちえ

東京電力の福島原発が地震と津波で破損してから、原発地元の人たちと避難先で言葉を交わしてきた。だれもが将来への不安を語ったが、私が注目したかったのは「働くこと」に対する不安がその根っこにあることだった。東電の社員は会社と雇用と年金を失うことを心配し、関連企業の出向社員は原発廃炉を望んだが、その裏には廃炉になった後の就職口を期待する心があった。東電と取引のある中小零細の地元企業への影響も大きい。まるで、原発を中心に地元の生活が回っているかのように、多くの人たちの「働くこと」は原発で支えられているようだった。

40年以上原発労働者を追い続け、被ばくの実態を

から守れ!-福島のとたかい」(30分)は、その一区切りにすぎない。それは福島の放射線値を下げ、子どもたちを守ろうとする闘いが、まだまだあまりにも厳しい現実と直面しているからだ。私はこの闘いを全国に広げ、最終的に福島の子どもたちを救える日が来るまで、撮り続けたいと思う。

★「世界は恐怖する一死の灰の正体」

(亀井文夫・1957年・80分)

いま忘れられていた映画がよみがえる！ 亀井文夫の長編ドキュメンタリー「世界は恐怖する一死の灰の正体」(1957年製作)がそれだ。亀井といえば、戦時下に「たたかふ兵隊」をつくって上映禁止を受け、獄中生活を強いられ、戦後直後、今度は「日本の悲劇」でGHQから上映禁止を受けた日本のドキュメンタリストの第一人者である。「世界は恐怖する」は、その戦後の代表作の一本で、冷戦下の米ソ核実験がもたらした放射能の恐怖の実態を科学的・実証的に解き明かした傑作。放射能という目に見えないものを、大胆にも映画によって視覚化させたもので、それによって人間が自然の生態系の一つとして生存している生き物だとも理解できる。そしてあの何万年も前の恐竜がゴジラとしてよみがえる放射能のコワサー絵空事でなく切実なものとして、いまの私たちに迫ってくる。(木下昌明)



暴露してきたフォトジャーナリストの樋口健二さんは、この原発依存の地元生活について「人間は知力ある生き物。原発なくしての生活を追求すべきだ」と言っていた。

「働くもののメディア」として常に労働者や労働組合の視点を重視しているレイバーネットTVだからこそ見えること、伝えるべきことがある。この惨事の中、これまで幅広い背景の方々から声を集めてきた。しかし私たちが追及すべきは、辛い、悲しい、苦しい思いを聞くことだけでなく、それを乗り越え、問題を打開する策と一緒に考える場となることだと思っている。原発は福島だけでなく、この狭い島国を埋め尽くす。今後も、原発を巡る労働や働く仲間の声を拾い、インターネットメディアの持つ双方向性を生かして、この場をつくっていきたい。(レイバーネットTV・キャスター)

■会費・カンパ納入のお願い

レイバーネットの活動が広がり、財政支出も多くなっています。会の財政はすべて会費とカンパで賄われています。会費納入率が90%をこえれば、運営が楽になります。振替用紙を同封しましたので、ぜひご協力をお願いします。(事務局)

＜レイバー映画祭 2011・上映作品紹介＞

★「ハードレインーパンドラの箱からふりそそぐ放射能」

(デビッドブラッドベリ・2007年・77分)



ウラン鉱山開発に対する先住民族ミラルの人びとの闘いを追った「ジャビルカ」、劣化ウラン弾の健康への影響を探った「Blowin' in the Wind」で知られるオーストラリアのドキュメンタリスト、デビッド・ブラッドベリ

が、原発推進政策に対抗すべく制作した渾身の一作。ウラン鉱山開発の現場から原子力発電所や再処理工場まで、中国、フランス、イギリス、日本（美浜）、オーストラリアの5カ国を取材。「CO2を排出しないクリーンなエネルギー」と喧伝される原子力発電の本当の姿を暴く。日本初公開。

★「反原発デモ映像ダイジェスト」

(レイバーネット・10分)

原発はごめんだ！ 高円寺・渋谷そして新宿を埋め尽くした怒りの若者たち。レイバーネットメンバーが記録した映像のダイジェスト版。

★「返品歓迎」 (韓国民主労総・6分)

アニメーションでユーモラスに、派遣労働の非人間性を浮き彫りにする。派遣労働者必見。

★「ごみと格闘する人々ー日韓清掃労働者交流の記録」

(高幣真公 / 山崎精一・2011年・20分)

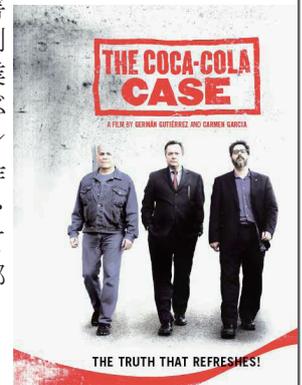
「きつい・きたない・きけん」といわれる清掃労働。その仕事に従事する日本と韓国のユニオンメンバーが交流。一緒に作業をするなかで見えてきたものは。



★「コカコーラ・ケースー多国籍企業の犯罪」

(カナダ作品 カルメン ガルシア・2009年・86分)

舞台はコロンビア。ここでは2002年以来470人の労働運動のリーダーが殺害された。コカコーラ工場も例外ではなかった。多国籍企業コカコーラが究極の組合つぶしの実態が、このドキュメンタリーで明らかにされた。昨年来、世界では「コカコーラ・ボイコット運動」も始まっている。レイバーネット国際部で字幕作成・日本初公開。



6.11 脱原発 100万人アクション

文化部が川柳・音楽デモ

6月11日に全国・世界で取り組まれる「脱原発 100万人アクション」にレイバーネット文化部も積極的に参加することを決めた。レイバーネットでもこうした取り組みは初めて。レイバーネット自身はネットワーク体であるため直接の団体行動はせず、一プロジェクト（文化部）として参加することにした。いずれにしろ、脱原発運動に川柳デモが登場するのは画期的で、成果が期待される。(写真=デモ準備の会合から)

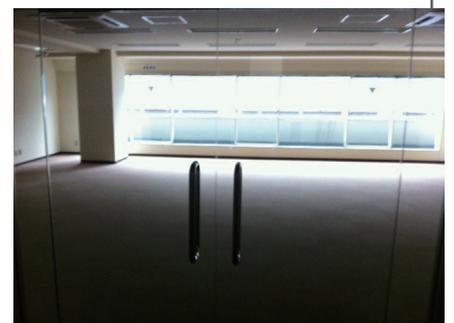


東京・水道橋に新空間「スペースたんぽぽ」開設

反原発運動で活躍する「たんぽぽ舎」が、支援者の寄付をもとに、30坪のビルスペース（写真）を確保し、6月20日から「スペースたんぽぽ」としてオープンする。60～80人のキャパがあり、さまざまなイベントが可能。現在共同で使用する「登録団体」を募集している。レンタル料も1万円強で、交通の便もよく（水道橋7分）これからの市民運動・社会運動の発信拠点になりそう。レイバーネットも協力していきたい。

なお6月22日にここで、「素人の乱」松本哉さ

んをゲストにオープニングイベントが開催される。また四ッ谷にあったメディアールも、新宿三丁目に移り「バンブー」という新たなスペースで活動を始めている。



新入会員紹介

●「ものを言わせぬ体制」おかし

田中真弓

このたび、レイバーネットTV「教育特番」に出演したことをきっかけに会員になりました。番組はまだ全てを見てはいませんが、いろいろな労働者の今の声が聞けて面白いと思いました。教育現場は1999年「国旗・国歌法案」が通った頃から、大きく変わりました。「日の丸」「君が代」が一つの踏み絵となり、ものを言わせぬ体制が作られています。2003年10月23日の都教委通達で、教職員への「君が代斉唱」が義務づけられ、430名もの人が不起立により処分されました。私もその一人です。一律に「君が代」を斉唱させる事は子どもたちに一つの考え方を押しつけるもので認められません。是非、一緒に考えてほしいです。(東京の公立小学校教員)

●レイバーフェスタ大阪を一緒につくり

エンドウノリコ

大阪でレイバーフェスタを始めて7年、私は1回目から実行委員として参加しています。毎年12月開催、今年はメンバーを増やして、新たな取り組みをしたいと考えています。というか、人材不足で今年ではできるかどうか危ぶまれています。内容は東京に比べるとシンプルで、メイン映像を中心に落語、歌、公募3分間ビデオなどの内容。関西にお住まいの方で、レイバーフェスタ大阪に関わってみたいという方ぜひいっしょにイベントを作りませんか？

サイトはこちらです、連絡を待っています。お問い合わせ：レイバーフェスタ大阪実行委員会：Tel/Fax:06-4805-0234 (ビデオ工房 AKAME 内)

<http://labour.blog71.fc2.com/> mail:fffesta@yahoo.co.jp

●「こんな世の中まっぴらバイ」と叫び続ける やのたかし

初めまして。九州の国労闘争団員です。昨年「政治和解」を受け、「トウソウ」終結を決断した一人です。人生の折り返し点をとっくに過ぎてしまいました。さあ、これからどうするか。いくばくかのお金と引き換えに、「トウソウ」20年余の人生を清算するのか否か。こんな世の中の出発点は、国鉄分割民営化ですもんね。僕(たち)はその生き証人ですもんね。「こんな世の中まっぴらバイ」「声をあげよう」「つながろう」とオラビ(叫び)つづけたと思います。5月1日、博多のど真ん中で集会を行い、九電本店までデモをしました。70人で。北九州と博多の「インディーズ系」の仲間が繋がったのです。「ともに生きよう・連帯」。よろしく！ ちりあくた キラキラと舞う ノーパサラン

●頼もしい「レイバーネットTV」

志真江利子

私は都内の日本語学校で非常勤講師をしています。原発事故で、韓国・中国の学生が激減し、もともと低賃金・不安定雇用の非常勤は待機やコマ数削減を余儀なくされています。原発事故の影響をこのようにもろに受けるとは思ってもいませんでした。レイバーネットはケン・ローチ監督(実は大ファンです)の映画がレイバーフェスタで上映された頃から知っていましたが、今回原発の信用できる情報を探していく中で「たんぼぼ舎」経由でレイバーネットに再会したというわけです。いままでネットで動画を見ることなどなかったのですが、レイバーネットTVは頼もしい存在だとただただ感心しています。

●横浜事件の闘いは終わっていない

木村まき

横浜事件元被告の夫、木村亨が1998年に死去し、私は裁判を継ぎ第三次再審請求人となりました。皆様の応援で、03年に横浜地裁から再審開始決定を出させ、再審公判が開始したものの、最高裁で08年に免訴判決確定。横浜地裁から刑事補償決定は出しましたが、これで闘いが終わったわけではありません。何かの終わりは、何かの始まり。かつて書いた詩で私の自己紹介とします。

<静かな問い>

最高裁のポールの日の丸をにらみつけてから
霞ヶ関へと急いだ
時は春
横浜事件上告趣意書作成の弁護団会議がはじまる

殊勝にもうなだれていたのに
前に立ったとたん風が吹いてきやがって
隼町では、日の丸と風はグルだな

三人の女の裸体像
この砦でのただひとつの美
それを汚してはなるまい

「面会を強要してはならない」
立て札に書かなくていいよ
私は何一つ強要などするつもりはない
ただ聞きたいだけだ

誇りを知っていますか
恥を知っていますか

答えは永遠に返ってこないにしても

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 477名

ウェブアクセス 1日 2000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

レイバーネット日本事務局

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578